

< 目 次 >

- 1 【 実践事例 】 学校と地域の協働による教育活動実践事例（青森県）
  - 2 【 家庭学習 】 家族そろって食事をしよう
  - 3 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 4 【 みんなの声 】 ペっこ言い隊
  - 5 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
- 

1 【 実践事例 】 学校と地域の協働による教育活動実践事例（青森県）

青森県七戸町と青森市立三内小学校の取組を紹介します。

七戸町では、夏休みにおこなわれる中学校の学習会や部活動に高校生が参加し、学習支援をおこなったり、マルつけをしたりします。この取組は、小学校の学習会にも広がっています。町全体で地域連携に取り組んでいる事例です。

事例は⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_hitinohe.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_hitinohe.pdf)

保護者が学習支援に参加する実践をおこなっているのは、青森市立三内小学校です。基礎学力の定着を図るための「基礎基本の時間（年間 10 時間）」のプリントやドリル学習のマルつけに保護者が参加するというものです。保護者全体で子どもの学習を支援する取組は、保護者も育てます。このような学校では、親子の家庭学習に対する意識も高まっていくのだと思います。

事例は⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_sannaisyo.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_sannaisyo.pdf)

（青森県教委；平成 20 年度学校と地域の協働による教育活動実践事例集より）

---

2 【 家庭学習 】 家族そろって食事をしよう

第 3 日曜日は、何の日だか知っていますか？県内すべての小中学校では、子どもたちにチラシが配られ、各家庭にも届いているはずですが。答えは、家族と一緒に時間を大切にする「いわて家庭の日」です。

これは、昭和 41 年の結成大会において、「教育振興運動と一体となった県民運動」を展開することを宣言し、学校・家庭・地域社会が手を取り合って青少年の育成活動を進める“岩手県青少年育成県民会議”が提唱しているものです。

「いい日、どんな日、家庭の日、家族そろって食事」のキャッチフレーズをとおして、家庭には「一緒に食事、体験の共有、家族の語らいを大切にする」ことを、地域には「地域の子どもの名前を覚え、声をかけ、良い手本を示す」ことを提案し続けています。

この日を家族の食事について考える日として、「子ども一人で食事をする＝孤食」、「親と子どもの食べるものが違う＝個食」、「好きなものばかり食べる＝固食」、「ダイエットで少ししか食べない＝小食」、「パンやインスタント麺ばかり＝粉食」といった、5つの「コ食」になっていないか振り返ってみましょう。

また、「朝ごはんを食べる→体温や血糖値が上がる→自律神経の働きがよくなる→勉強や運動に集中できる→活動的なので早く眠れる」といった、朝ごはんを食べる習慣の大切さを説く北海道教育大学の小澤治夫教授が提唱した「風車の理論」を今一度、家族で確認する日にしたいものです。

食生活が乱れては、学習や読書どころではありません。今月の「いわて家庭の日」は、5月16日(日)です。生活の基盤となる家庭のあり方を考えましょう！  
チラシ⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kateinohi.pdf>

---

### 3【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) 今週の14日(金)に、岩手県立博物館で「教育振興運動市町村担当者研修会」が開かれるんだよ。楽しみだね。

(教ちゃん) 教育振興運動推進の中核を担う47名の市町村の皆さん、そして各教育事務所の社会教育主事と指導主事の皆さんが集まるのね。

(振ちゃん) うん。教育振興運動のあり方や自分たちの役割を確認し合う機会なんだ。それに、県立博物館のことをもっと知って欲しいしね。学校の遠足や、子ども会の行事で見学に行くのもいいし、出前講座もあるから地域に招いて体験学習をするのもいいと思うよ。

(教ちゃん) それは、楽しそうね。

(振ちゃん) 研修会では、全県共通課題(「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」)における実践事例の発表もあるんだ。各小中学校の皆さんは、その実践内容について、市町村担当者に問い合わせてくださいね。

(教ちゃん) そうね。地域へ、そして各小中学校へ必要な情報を提供するのも担当者としての大きな役割ってことね。

(振ちゃん) 「みんなでやろうよ」と呼びかけて、進めていくのが教育振興運動だから、呼びかける担当者の役割って大きいと思うんだ。また、呼びかける相手だって、学校やPTA、子ども会、地域の自治会、婦人会、老人会、実践区・・・と幅広いしね。まさに「子どもの教育」というツールで、地域を結ぶコーディネーターなんだよ。

(教ちゃん) カッコいい！そういう皆さんに、お会いするのが楽しみだわ。

---

### 4【みんなの声】ぺっこ言い隊

いつも楽しく拝見しております。

岩手にも桜の季節が到来しました。今度、我が家の子どもたちと花見をする予定ですが、私の尊敬する方の言葉を思い出したので紹介します。

「花の咲く時期はそれぞれ違うのだから、梅が咲いたからといって、桜はうら

やましがることはない。」

勿論、人間にも当てはまります。大器晩成という言葉がありますが、例え「大器」にはなれなくとも、少しずつ努力を重ねれば「晩成」なら達成できると思います。教育振興運動は、そうした夢の実現のアシスト機能を果たしてるんですよね。

お父さんの説教染みた話に付き合ってくれるかどうかは分かりませんが、子どもたちと花見をしながら語り合ってみるつもりです。(H町 Cさん)

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。  
⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

---

## 5 【編集後記】あつしのひとりごと

「トマトがね、トマトのままであれば、本物なんだよ。トマトをメロンに見せようとするから、偽物になるんだよ。みんなそれぞれに本物なのに、骨を折って偽物になりたがる。」・・・相田みつをさんの書です。

身長2mの人と体重100kgの人では、どちらが大きいですか？答えは、「比べられない」です。A君とB君は、どちらが優れていますか？この答えも「比べられない」です。人は皆、一人ひとり違うのですから。

梅は梅、桜は桜。トマトはトマト。メロンはメロン。比べることをやめると、親も子どもも楽になります。偽物にする必要もありません。ただひたすらに、子どものすべてを受け入れ、その力を信じ、日々の成長を楽しみましょう。

「わたしと小鳥とすずと」・・・みんな違って、みんないい。金子みすゞさんの詩が大好きな あつし でした。

⇒ 第21号は、5月25日（火）配信です。

★平成21年度配信のバックナンバー（第1～17号）はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

～～～配信元～～～

＊ 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

＊ 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

～～～